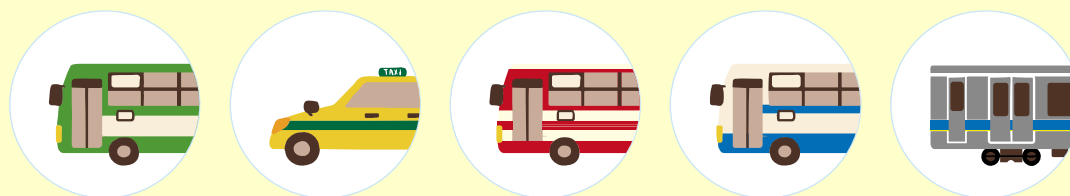


滝沢市地域公共交通網形成計画 の施策への取組み状況について



〈 第 1 1 回滝沢市地域公共交通会議 〉

令和2年2月13日（木） ビッググループ滝沢 大ホール

滝 沢 市
都市政策課

滝沢市 営業係長

ちやんぼん



1 公共交通利用向上プロジェクト

[施策 1 - 2] 市内移動における利便性向上

② 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



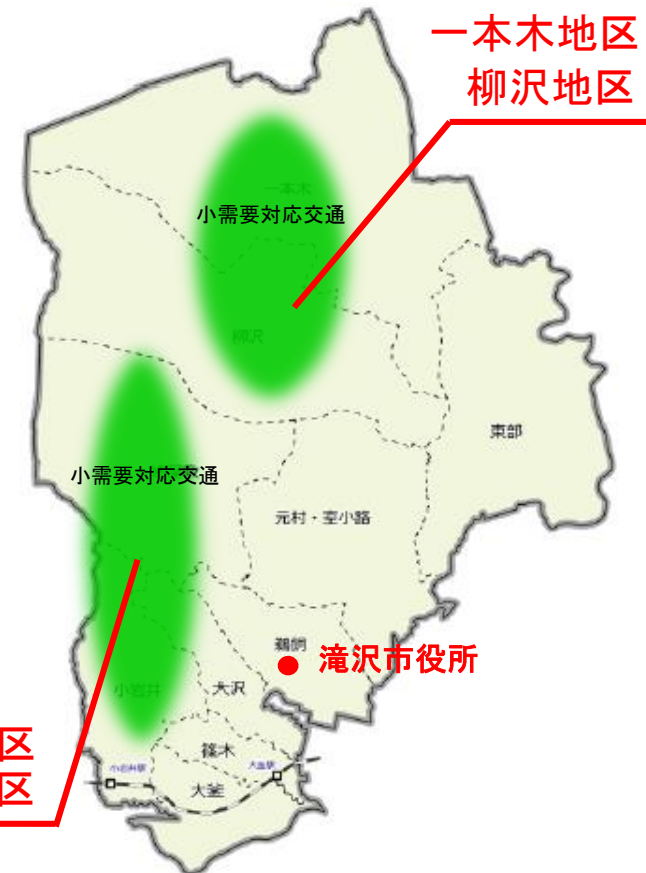
・ 柳沢地区、姥屋敷地区でアンケート調査を実施

小さな交通需要地域のうち、柳沢地区と姥屋敷地区において、主に高齢者の買い物・通院支援のための新たな交通サービスの導入に向けて、アンケート調査を実施し、各地区の現状、ニーズの把握を行った。



来年度、実証実験に向けた方向性や運行計画の検討を進める。(令和2年度予算計上)

姥屋敷地区
小岩井地区



▲小さな交通需要地域図

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-1〕情報発信による認知度向上

①公共交通の案内・情報発信ツールの作成

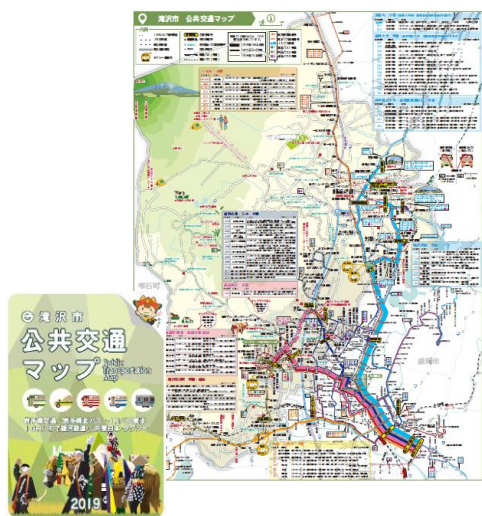


・「地区別公共交通マップ」の作成

滝沢市公共交通マップをもとに、地区ごとに拡大し、高齢者にも見やすいマップを県立大学の学生とともに作成【現在校正中】

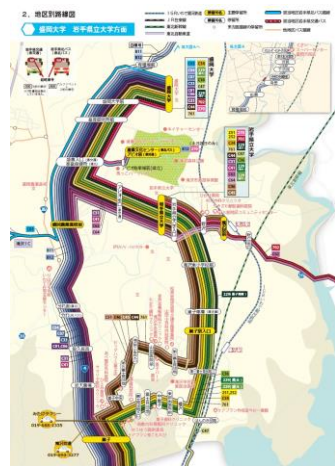
作成にあたって、各地区のいきいきサロン等に訪問し、高齢者の方から聞き取りを行い、その内容を反映した。

⇒ 令和2年4月から市内転入者及び主要施設等へ配布予定

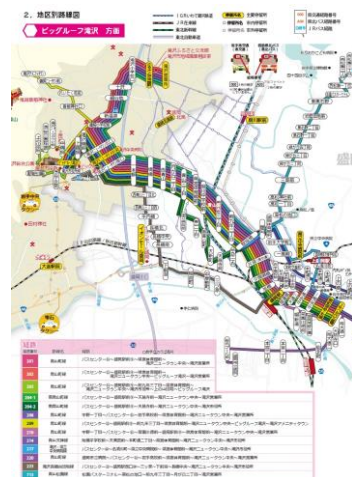


▲滝沢市公共交通マップ【2019】

より見やすいマップへ



【盛岡大学・岩手県立大学方面】



【ビッグループ滝沢方面】



【盛岡北高・元村方面】

▲地区別公共交通マップ（作成中）

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金(国)を活用

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-1] 情報発信による認知度向上

① 公共交通の案内・情報発信ツールの作成



・「広報たきざわ」掲載による公共交通の情報発信

市の「広報たきざわ」を活用し、公共交通に関するトピックスを掲載
市民の公共交通への関心を高めるため、チャグバス装飾やたきざわバスまつり
などの情報を発信（6月1日号、7月1日号、9月1日号）

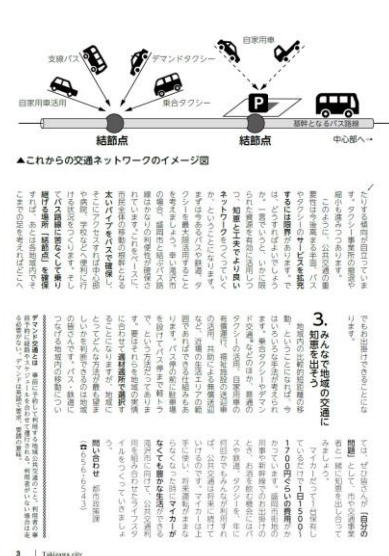
10月1日号の巻頭ページには交通ジャーナリストの鈴木文彦氏に依頼し、
これからの公共交通の在り方などについての記事を掲載



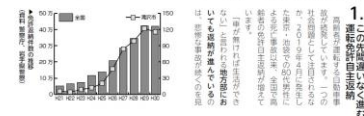
▲「広報たきざわ」令和元年7月1日号に掲載



▲「広報たきざわ」令和元年10月1日号（広報たきざわ第1000号）に掲載（表紙及び記事）



交通ジャーナリスト 鈴木文彦氏
マイカーとバスの上手な活用術



1. 運転免許取得しない高齢者
運転免許取得しない高齢者は、公共交通機関を利用する機会が増える。特に、高齢者が利用しやすいバスやタクシーの活用が重要となる。

2. 高齢ドライバーの4人に3人が運転に不安を持つ
高齢ドライバーの4人に3人が運転に不安を持つ。これは、高齢者の運転能力が低下していることを示している。そのため、高齢者に優しい公共交通機関の整備が求められる。

3. 高齢者の移動手段の確保
高齢者の移動手段の確保は、社会全体の課題である。特に、高齢者が利用しやすいバスやタクシーの活用が重要となる。

鈴木文彦氏
交通ジャーナリスト

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-1] 情報発信による認知度向上

① 公共交通の案内・情報発信ツールの作成



・IGRいわて銀河鉄道とちやくぼんのコラボデザインを作成

IGRいわて銀河鉄道のキャラクター「ぎんがくん・きららちゃん」と滝沢市の営業係長であり、公認キャラクターである「ちやくぼん」のコラボデザインを作成
令和2年度はIGR滝沢駅にシンボルデザインとして施工予定。また利用促進のためグッズ等を作成する予定



▲ 「ぎんがくん・きららちゃん」、「ちやくぼん」コラボデザイン



▲ IGR滝沢駅デザイン施工イメージ

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-2] イベント実施等による認知度向上

① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



・たきざわバスまつり2019の開催

公共交通に触れ合い、親しみを感じてもらうため、
イベント「たきざわバスまつり」を開催 延べ約3,200人が参加



日時：令和元年7月28日（日）
会場：ビッグルーフ滝沢



▲会場のビッグルーフ滝沢



「防災広場」、室内「ホワイエ」で開催



▲たきざわバスまつりチラシ

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金(国)、地域公共交通活性化推進事業費補助金(県)を活用

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



・たきざわバスまつり2019の開催

バスの乗り方教室【バスの乗車体験】
ビッグルーフ滝沢⇔滝沢総合公園間を5回運行



▲バスの乗車体験の様子



←表



裏→



▲乗車体験テキスト

▲バスの乗り方クリアファイル

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-2] イベント実施等による認知度向上

① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



・たきざわバスまつり2019の開催

バスの乗り方教室【バリアフリー体験、死角体験】
バスクイズラリー、バスロケ実験運行



▲バリアフリー体験



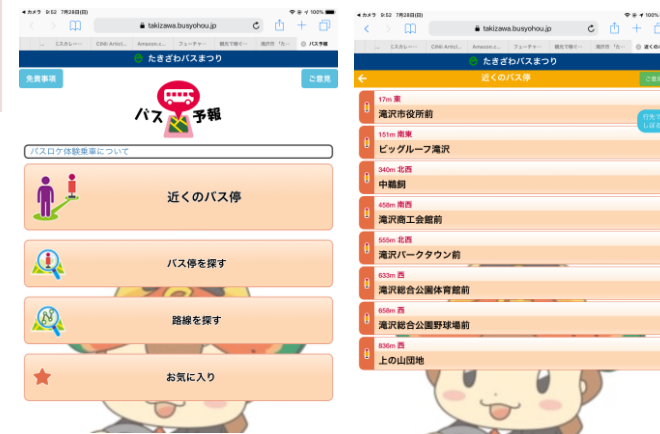
▲バスクイズラリー



▲トラックの死角体験



▲バストリビアコーナー



▲バスロケ実験運行

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

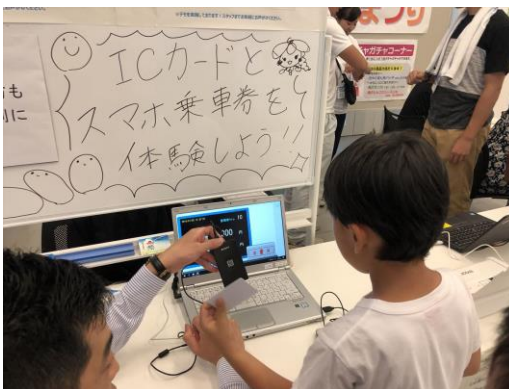
〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



・たきざわバスまつり2019の開催

高速バスの展示、ICサンプルカード作成、バスお絵かきコーナー



▲高速バスの展示

▲ICサンプルカード作成

▲バスお絵かきコーナー

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-2] イベント実施等による認知度向上

① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



令和元年10月に開催された「おでかけ交通博inはちのへ」において、岩手県立大学、株式会社 玄と共同でたきざわバスまつりについて発表



▲ 1 ミニツッPR (概要説明) の様子



▲ 設置ブースにおいて詳細を説明

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



・「Out of KidZania in 滝沢」で子どもたちがお仕事体験



▲当日の様子

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-2] イベント実施等による認知度向上

② パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施



・チャグバスの運行〈観光連携〉

公共交通と密接な関係にある観光事業（チャグチャグ馬コ）とタイアップ。目に留まるデザインに装飾した「チャグバス」を期間限定で運行し、チャグチャグ馬コのPRと公共交通の利用促進を図る。



▲装飾作業の様子



▲新聞報道

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-2] イベント実施等による認知度向上

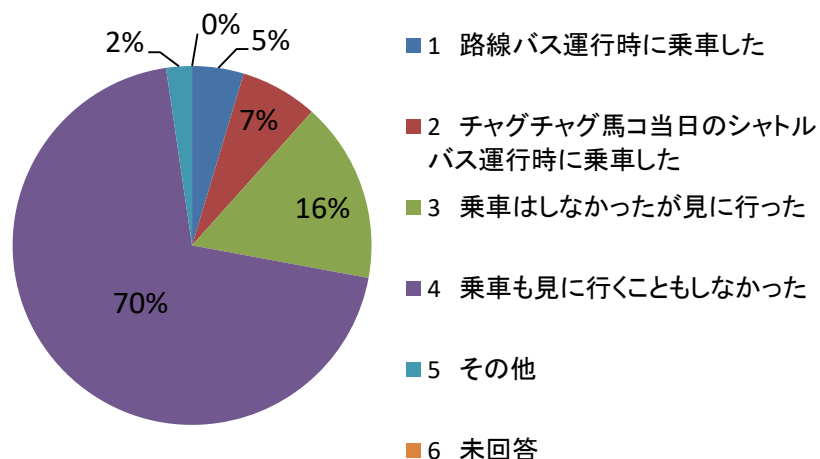
② パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施



・チャグバスの運行〈観光連携〉

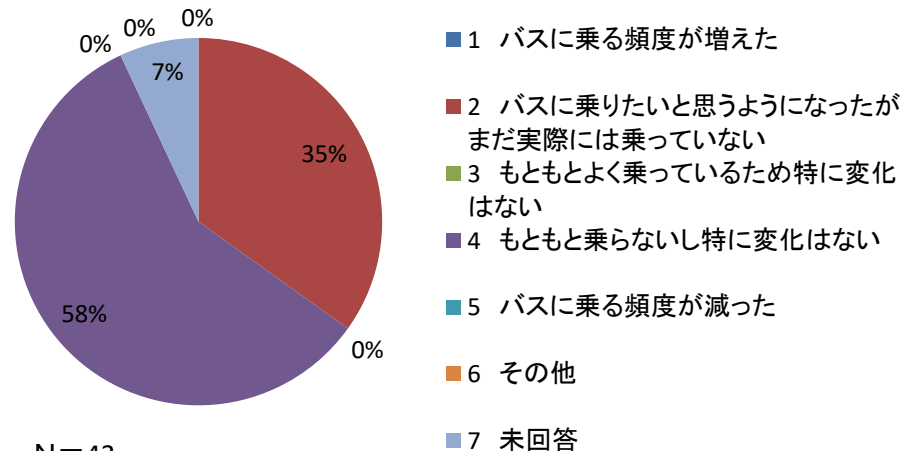
チャグバス装飾に協力いただいた園児の保護者にアンケート調査を実施

チャグバスの利用有無



N=43

チャグバスの取り組みによる 路線バスの利用頻度の変化



N=43

▲アンケート結果の一部

3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-1]交通拠点整備による利便性向上

①主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善



・市役所及びビッグルーフ滝沢バス停の待合環境を整備

平成30年7月にビッグルーフ滝沢に路線バスの乗り入れが開始され、市役所及びビッグルーフ滝沢の両バス停は、市内及び盛岡方面へ向かうバス交通の拠点となった。

市役所（2箇所）及びビッグルーフ滝沢（1箇所）のバス停を1～3番のりばとし待合環境を整備



▲ 1番のりば（ビッグルーフ滝沢）
平成30年度にバスまちの小屋根、ベンチを整備



▲ 2番のりば（滝沢市役所前（道路沿い））
今年度ボックスシェルターを整備
今後デザイン等施工予定



▲ 3番のりば（滝沢市役所前（敷地内））
平成30年度にベンチを整備
今年度は既存のバスシェルターにサインを施工予定
（イメージ図）

※地域経営推進費（県）を活用

3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-1] 交通拠点整備による利便性向上

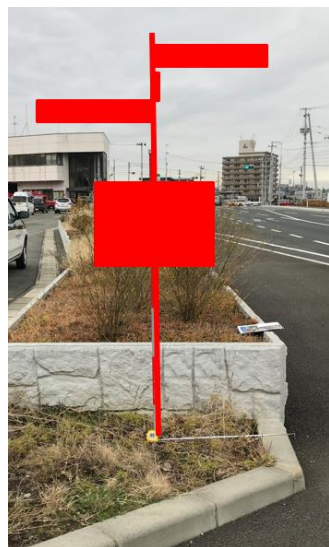


① 主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善

・市役所及びビッグルーフ滝沢バス停の待合い環境を整備

ビッグルーフ滝沢バス停に行先間違い防止のため、「盛岡方面のりば」と「元村方面のりば」を示すポールコーンガイドを設置予定

1～3番のりばの分岐点となる市役所前交差点付近には、各のりばを示す方向サインと案内地図を設置予定



▲方向サイン設置イメージ
(市役所前交差点付近)



▲ポールコーンガイド設置イメージ
(ビッグルーフ滝沢バス停)



※地域経営推進費(県)を活用

3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-1] 交通拠点整備による利便性向上

② 多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善



・バス停名を統一しわかりやすく改善

同じ場所にあるバス停だが、交通事業者ごとにバス停名が異なっていた3箇所のバス停のバス停名を統一した。



アピオ前 (県交通)

産業文化センター (県北バス) → 「産業文化センター」に統一

盛農入口 (県交通)

家畜保健所前 (県北バス) → 「家畜保健所前」に統一

分れ南 (県北バス)

分れ (JRバス) → 「分れ南」に統一

3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-1]交通拠点整備による利便性向上

②多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善



・ビッグループ滝沢バス停にサイネージを設置（実証実験中）

市役所周辺バス停3箇所の時刻表をまとめ時間ごとに表示
現在、利用者にアンケート調査を行っており、調査結果をもとに今後の展開について検討

定刻	方面(行き)	乗り場	路線名
20:47	滝沢営業所行き 経由地 細谷地、滝沢小学校口、滝沢ふるさと交流館前	1番ビッグループ滝沢	【202】青山町線
20:48	盛岡バスセンター行き 経由地 県、県営体育館前、館坂橋、夕顔瀬橋、盛岡駅前、大通三丁目、県庁・盛岡市役所前	1番ビッグループ滝沢	【202】青山町線
21:07	ビッグループ滝沢行き 経由地 館前、滝沢総合公園前、上山団地	2番滝沢市役所前(道路沿い)	【203】青山町線
21:08	盛岡バスセンター行き 経由地 県、県営体育館前、館坂橋、夕顔瀬橋、盛岡駅前、大通三丁目、県庁・盛岡市役所前	1番ビッグループ滝沢	【202】青山町線
21:27	滝沢営業所行き 経由地 細谷地、滝沢小学校口、滝沢ふるさと交流館前	1番ビッグループ滝沢	【202】青山町線

この画面に表示している情報は、時刻表の情報に基づいて表示されています。
実際のバスは定刻より遅れてくることがありますので、ご注意ください。

▲設置しているサイネージ画面



▲設置場所（ビッグループ滝沢バス停）

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策4-1]市民の公共交通に対する意識醸成



①地域の公共交通を考える意見交換会等の開催

・公共交通をテーマに「滝沢これからカフェ」を開催

令和元年8月2日（金）に滝沢市社会福祉協議会主催の「滝沢これからカフェ」において、市地域包括支援センターと連携し、“知って得する！おらほの交通”をテーマに開催

県立大学・宇佐美准教授の講演、牧野林カフェの「バス遠足」の様子を発表後、参加者と「公共交通の便利なところ、不便なところ」をテーマに意見交換



▲宇佐美准教授講演
「みんなが主体の公共交通」



▲牧野林カフェの発表スライドの一部



▲意見交換の様子

	便利	不便
バス	・乗降が楽 ・乗客が少ない ・乗客が多い	・乗降が難しい ・乗客が少ない ・乗客が多い
タクシー	・乗降が楽 ・乗客が少ない ・乗客が多い	・乗降が難しい ・乗客が少ない ・乗客が多い
電車	・乗降が楽 ・乗客が少ない ・乗客が多い	・乗降が難しい ・乗客が少ない ・乗客が多い

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策4-1] 市民の公共交通に対する意識醸成

① 地域の公共交通を考える意見交換会等の開催



・高齢者の日常生活における移動実態の聞き取り調査を実施

令和元年10～11月、各地区のいきいきサロン等12か所で、地区別マップ作成のための聞き取りと合わせて、高齢者の日常生活における移動実態についても調査を実施。マップに反映させるとともに、今後の公共交通施策検討の資料とする。



▲聞き取り調査の様子

日付	サロン名	地区	回答数
10月1日	おおさわいきいきサロン	大沢	16
10月2日	あすみ野茶話会	あすみ野	18
10月3日	上の山いきいきサロン	上の山	19
10月7日	東町内会お茶っ子クラブ	巣子	17
10月9日	ゆいっこ	長根	6
10月10日	いきいきサロンすみれ会	滝沢NT	37
10月10日	法誓寺いきいきサロン	法誓寺	37
10月15日	牧野林カフェ	元村中央	13
10月17日	元村東いきいきサロン	元村東	12
10月21日	長生会	元村南	9
10月31日	篠木いきいき百歳体操	篠木	21
11月14日	南一本木いきいきサロン	南一本木	14

▲聞き取り調査実施地区

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策4-2] 協働・連携による体制づくり

① 大学と連携した公共交通施策の展開



・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案 【1年生】

前年度と同様に3グループが実現可能な市の公共交通施策を検討
テーマ：「転入者モビリティマネジメント※」



▲授業の様子



▲中間発表の様子

▼本発表に向けて、事業者からアドバイスをもらった



▲令和元年12月19日新聞記事

※モビリティマネジメント(MM)とは、多様な交通施策を活用し、個人や組織、地域のモビリティ(移動状況)が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取り組みを指す。

本日(2/13)、市地域公共交通会議で検討結果について発表

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策4-2] 協働・連携による体制づくり

① 大学と連携した公共交通施策の展開



・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案 【3年生】

1年次に授業の中で検討した公共交通施策に授業終了後も引き続き取り組み、ソフトウェア情報学部の学生とともにLINE@を使った時刻表案内システムを開発



令和元年11月に開催された「岩手県学生IoTアイデアコンテスト」において、**最優秀賞**を受賞

現在は県立大学生向けのシステムであるが、今後の展開や、時刻表更新などのサポートについて、市も一緒に検討していく。

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策4-2] 協働・連携による体制づくり

① 大学と連携した公共交通施策の展開



・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案【3年生】

「岩手県学生IoTアイデアコンテスト」の様子



▲LINEの画面



◀「岩手県IoTアイデアコンテスト」の様子

▲◀ 新聞記事

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策 4-2] 協働・連携による体制づくり

②モビリティマネジメントの推進



・市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進

平成30年11月から全庁での試験運用を実施。令和元年11月から本格運用とした。

市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進を行い、職員自らが公共交通の利用機会を創出するとともに、日常的な公共交通の利用につなげる。

(市民に対しての公共交通利用の啓発、環境への負担軽減なども同時に図る)

【平成30年11月から令和元年10月までの1年間の実績】

延べ利用人数：149人

使用金額：108,480円



▲職員の内部情報システムからバスカード利用予約ができる

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策4-2] 協働・連携による体制づくり

③ 交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施



・バス運転手募集のポスター・チラシを作成

バス会社3社合同のポスターを作成。市内各施設に掲示。バスまつりでは、バス運転手PRブースを設け、仕事紹介を行った。そのほか盛岡広域の高校（13校）に配布予定



▲作成ポスター・チラシ



▲バスまつりでのバス運転手PRブース

今後の施策への取組



来年度に実施を予定している主な取組

- ・新たな交通サービスの検討（小さな交通需要地域）
- ・地区別公共交通マップを配布【令和2年4月予定】
- ・盛岡大学学生のためのバス時刻表作成
- ・チャグバス及びチャグ電の運行【令和2年5～6月予定】
- ・たきざわバスまつり2020の開催【令和2年7月予定】
- ・ビッグルーフ滝沢バス停のサイクル&バスライド推進のため、サイクルポート及びサイクルラックの整備
- ・IGR滝沢駅にシンボルデザイン（キャラクターコラボデザイン）の設置
- ・全国バスマップサミットの開催
【令和2年11月28日、29日 会場：ビッグルーフ滝沢（前年は岡山市開催）】



今後の課題として各関係機関と協議中の取組と 検討が必要な取組

- ・バス事業者間の連携・調整したダイヤ編成
- ・市の中心市街地形成（市役所周辺）と連携した移動手段の検討
→ 長年の課題として、市内各地域から市役所周辺までの移動手段が少ないことが挙げられる。
現在検討を進めている中心市街地形成に合わせた路線バスの運行経路見直し等について、バス事業者と協議し、**中心市街地までの移動手段の確保**を検討

滝沢市地域公共交通網形成計画 施策・プロジェクト実施スケジュール表【平成29年度～令和4年度】

●.....▶ 検討・協議
→.....▶ 実証・実施
●.....▶ 計画上の
→.....▶ スケジュール

施策・プロジェクト	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度															
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 公共交通の利便性向上プロジェクト																															
[施策1-1] 地域間幹線軸の品質・サービスの向上																															
① 市内主要拠点と隣接市町を結ぶ路線バスのサービス充実 (実施主体: 市、県交通、県北バス、JRバス) ・バス事業者間の連携・調整したダイヤ編成	●.....▶																														
② 拠点形成の変化に合わせた経路の見直し (実施主体: 市、県交通、県北バス、JRバス) ・路線バス青山町線の一部再編(ビッグループ滝沢への乗り入れ) ・市役所周辺バス停の統合、運行経路の見直し	●.....▶																														
[施策1-2] 市内移動における利便性向上																															
① 市内主要拠点を結ぶ地域内交通ネットワークの検討 (実施主体: 市、交通事業者) ・中心拠点形成に合わせた路線バスの運行経路の見直し	●.....▶																														
② 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討 (実施主体: 市、交通事業者) ・地域特性に応じた交通サービスの検討(柳沢・姥屋敷地区)	●.....▶																														
2 公共交通の認知度向上プロジェクト																															
[施策2-1] 情報発信による認知度向上																															
① 公共交通の案内・情報発信ツールの作成 (実施主体: 市、交通事業者) ・「滝沢市公共交通マップ」の作成 ・地区別「滝沢市公共交通マップ」の作成 ・「広報たきざわ」掲載による公共交通の情報発信 ・公共交通に関する「ちやぐぼん」の新デザイン作成 ・盛岡大学学生のためのバス時刻表作成	●.....▶																														
② スマートフォン等を活用した情報発信 (実施主体: 市、交通事業者) ・滝沢ナビ(スマートフォンアプリ)を活用した公共交通に関する情報発信	●.....▶																														
[施策2-2] イベント実施等による認知度向上																															
① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催 (実施主体: 市、交通事業者) ・バスの乗り方教室の開催 ・「Out of KidZania in 滝沢」の開催	●.....▶																														
② パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施 (実施主体: 市、関係機関(観光・商業)、交通事業者) ・チャグバスの運行(観光連携) ・チャグ電の運行(観光連携)	●.....▶																														
3 公共交通の環境改善プロジェクト																															
[施策3-1] 交通拠点整備による利便性向上																															
① 主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善 (実施主体: 市、交通事業者(鉄道・バス)) ・市役所及びビッグループ滝沢でのバスカード販売 ・市役所及びビッグループ滝沢バス停の待合環境整備 ・次世代型バスロケーションシステムの実証実験 ・ビッグループ滝沢バス待合所へのサイネージ設置(実証実験)	●.....▶																														
② 多言語化・カーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善 (実施主体: 市、交通事業者(鉄道・バス)) ・路線バス(青山町線系統)の目的地表示をわかりやすく改善 ・バス停留所名称の統一(改善) ・IGR駅への駅名標や乗継案内サイン看板の設置	●.....▶																														
[施策3-2] 利用しやすい交通体系の構築																															
① 交通弱者に対する交通施策の展開 (実施主体: 市、交通事業者(鉄道・バス)) ・交通弱者を対象とした助成・割引等の支援	●.....▶																														
② 乗り換え・乗り継ぎがしやすい運行ダイヤへ改善 (実施主体: 市、県交通、県北バス、JRバス) ・交通機関同士の接続性を考慮したダイヤ編成	●.....▶																														
4 多様な主体と連携・協働プロジェクト																															
[施策4-1] 市民の公共交通に対する意識醸成																															
① 地域の公共交通を考える意見交換会等の開催 (実施主体: 市、市民) ・市民を対象とした意見交換会の実施 ・公共交通セミナーの実施(交通ジャーナリスト・鈴木文彦氏)	●.....▶																														
② 地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討 (実施主体: 市、市民) ・高齢者の移動手段に関する意見交換会の実施	●.....▶																														
[施策4-2] 協働・連携による体制づくり																															
① 大学と連携した公共交通施策の展開 (実施主体: 市、交通事業者、市内大学) ・岩手県立大学生による調査・研究(小岩井地区意見交換会) ・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案	●.....▶																														
② モビリティマネジメントの推進 (実施主体: 市) ・市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進 ・転入者へのモビリティマネジメント(公共交通利用動機付け冊子の作成)	●.....▶																														
③ 交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施 (実施主体: 市、交通事業者) ・交通ドライバー確保に向けたPRポスターの掲示、配布	●.....▶																														